

## 閉会あいさつ

井上晃男\*

(鹿児島大学南方海域研究センター長)

ご発表の時間を制限し議論を節約したうえに、私がおあいさつするのは非常に申しわけない次第ですが、決まりですので一言申し上げます。本日は遠路はるばる東京外国語大学から池端先生、国立民族学博物館から宮本先生、九州大学から清水先生においでいただきましてありがとうございました。また、長時間にわたりまして司会を務めていただきました早瀬先生、ありがとうございました。

私どもの研究センターは7年間の時限をあと45日で迎えます。45日経ちますと、先ほどの学長のおあいさつにもありましたように、新しく南太平洋海域研究センターに生まれ変わります。英名は現在の通り〈Research Center for the South Pacific〉ということで、相変わらず同じような研究活動を続けていくつもりでございます。今日のシンポジウムは、南方海域研究センターとしては12回目のシンポジウムですが、これまで海、陸、人、社会にかかわるいろいろなテーマを手がけてまいりました。もちろん私どもだけでできたわけではございませんで、林先生、根建先生、小林先生、そして木原先生を中心とした研究小委員会の活動によるものでございます。

今後も私どもの研究、調査に立脚したシンポジウムを開催して、皆さんとともに議論し、センターを発展させ、鹿児島大学と一緒に伸びていきたいと思っております。本日はどうも長時間ありがとうございました。以上でおあいさつとさせていただきます。

---

\*現在、鹿児島大学南太平洋海域研究センター長